



令和4年度 都立水元特別支援学校



公開研究会の実施（1月）

- ・カリキュラム・マネジメントの視点に立った授業改善
 - 外部講師（小低1、小高1、中学部1）による指導・助言
 - 校長、副校長、主幹教諭による一人一回授業研究への指導等
 - 担当主幹教諭等による研究主任のリーダーシップ支援

ICT機器（タブレット端末）の活用

- ・個人単位から学校単位へ
 - 校内研修会（7月）「Teamsを活用した宿題の作成」
 - 好事例の校内共有（各学年2事例 全校18事例）
 - 教職員研修センターにおける研修受講・還元

外部専門員（年間約80回）

- ・教員の専門性向上
 - PT(理学療法)、OT(作業療法)、ST(言語聴覚)、心理、視覚の視点に基づいた児童・生徒理解
 - 根拠（アセスメント等）に基づいた指導
 - 情報共有（紙面・電子）による授業、個別指導計画への反映

「水元」レガシーの確立

- ・東京2020大会のレガシーの浸透
 - 地域を活用したスポーツの推進（ポニー教室・乗馬体験）
 - 「子供を笑顔にするプロジェクト」の活用（3学期実施）
 - 「アスリート派遣事業」の活用（2学期実施予定）

宿泊防災訓練（7月）

- ・「自助」について体験を通して学習
 - PTA、地域自治会等との連携強化

生命（いのち）の安全教育

- ・校内研修会の実施（6月）
 - 自分や相手、一人一人を尊重する教育の推進

キャリア教育の充実

- ・福祉施設における就業体験の実施
 - 小学部…6年生2日間 中学部…各学年5日間（中2・3は、都立葛飾特別支援学校見学・体験等を別に設定）
 - 都立足立特別支援学校職能開発科による出前授業（2学期）